

令和元年度 学校関係者評価報告書

NO. 中13

市川市立大洲中学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	「主体的・協働的に学習に取り組み、自ら考える生徒の育成」 ～わかる・できる授業、深い学びのある授業を作っていこう～	道徳教育、福祉教育の推進 いじめの未然防止を図る。	運動に親しむ態度を育むとともに健康で安全な生活を実践する能力を育てる。	積極的な情報提供及び情報共有により家庭、地域との連携を図る。
2	現状と課題	受け身的な面が多い授業から、生徒が主体的に取り組む授業にしていく必要がある。誰もがわかりやすい授業の工夫に努めることが必要である。	いじめの重大事態は起きていないが、SNSをめぐるトラブルは何件か起きている。思いやり心を育むための心の教育や情報モラル教育を継続する必要がある。	自分の体に關心を持ち、すすんで体を動かす生徒を増やしていくことが課題である。心や体の健康について考える機会を提供することが大切である。	生徒の健全な育成のためには、家庭と学校が連携を密にしていくことが大切であり、いかに学校の様子、生徒の様子を保護者と共有していくかが課題。
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器、大型ディスプレイ等の利活用推進 視覚化した教材教具の活用 生徒が考える場面、考えを伝える場面を授業の中で計画的に設定する。 学習支援としてテスト前学習会実施 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート等を通して生徒の把握いじめの早期発見、対応に努める 花火後の清掃活動や地域清掃活動への参加を奨励し、ボランティア活動を通して自己有用感を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育や運動部活動での運動量確保、活動の充実により体力向上を図る。 昼の放送を通じ、外で体を動かすことの奨励、給食の栄養素の説明を行い運動面、食事面の意識向上を図る。 保健講演会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 学年だより、学校だよりを通して生徒、学校の様子を伝える。 HPにより積極的に学校・生徒の情報を提供する。 PTA、地域の方と協力し、生徒の地域行事への参加を促す。
	成果等	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にICT機器の活用、ペアワークやグループワークが取り入れられたことにより、授業がわかりやすいという評価に向上が見られた 	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケート、教育相談アンケートにより生徒の把握と早期対応、確認ができた。 清掃活動への参加を通して、ボランティア活動の意識を高めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通した生徒の活動として、運動の奨励、食や健康に関する情報提供を行うことができた。 部活動の実績が向上してきている。 予告なしの避難訓練により、安全確保への意識を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートの「大洲中に入学させて良かった」という声から肯定的な回答を得ることができた。 学校の取組に関する情報提供をさらに進める必要がある。
4	達成状況 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5・④・3・2・1	5・④・3・2・1	5・4③・3・2・1	5・④・3・2・1
		<ul style="list-style-type: none"> 「授業がわかりやすい」と「授業に満足」が同時に上昇すると立派であるが、難しいのであろう。 生徒が意見を出し合うことでお互いの考えを深めていきたい。そのためにも話し合い活動の訓練が大切と感じた。 僅かではあるが、授業がわかりやすく興味を持って学習する傾向が見られ良いと思う。 生徒のためのICT機器及び大型TVの導入とその活用で、更に授業がわかりやすく全体的に学力向上につながっている。 理解してもらおうとする努力が伺える。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域の活動に参加させることで、豊かな心が育まれていると感じる。 クラブ活動と地域のボランティア活動の両立は難しい。点でより参加を進めたい。必ず豊かな心の教育は可能である。 情報モラル教育は大切である。ボランティア活動を通して自分も地域の一員であるとの自覚を向上させたい。 非常に明るく学級が多く、子供と先生、子供同士の人間関係がうまくいっていると感じる。 地域行事、ボランティア活動の理解、参加意欲は高い。他の学校でもSNSトラブルがある。教育が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもに体を動かすことを推進することは大変なことなのか。アイデアを出して推奨してほしい。 進んで体を動かす点(状況が少ないこと)が気になるが、予告なしの避難訓練実践は意識向上に大切である。 クラブ活動への参加とその充実を図ることが最適と思われる。 学校交重富方針でも地域の方の「願い」にも体についての話や少なかつたように思います。大洲中の伝統なのか。 昼休みのEXダンスの導入は良い刺激になったでしょう。意識づけのために継続させたい方がいいでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 大洲中に入学させて良かったという保護者が多いという事は、先生方の努力の賜物でしょう。 多くの情報を保護者に提供してください。情報の共有に努力を惜しまないこと。 大洲中に入学させて良かったとの意見の高さに感謝している。学校側も自信を持って頑張ってください。 地域への情報提供の方法を具体的に開きたい。 HPやメール配信、プリント等で学校の様子がよくわかります。 学校だより、PTAだより等を読む機会が少なかつた。もっと送ってほしい。 できるだけもっと保護者に学校の特色をアピールする方法を模索し、実行するとよいと思います。
5	学校への意見	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上には振り返りが効果的と考えます。先生方への指導をお願いしたい。 授業の振り返りのために授業時間の配分に工夫が必要です。 経営方針や取り組みを直接親に伝える努力をお願いします。 学校行事に地域住民の方々に参加できるような仕組み作りをお願いします。 非常に明るく落ち着いた生徒、先生の多い学校で親しみを覚えます。「自学・自治」のモットーが伝統的に強く、学校の柱になっていると思います。 先生方のご努力は十分伝わっております。現在の方針をそのままやっていただきたいと思っております。 			
6	市教委への意見	<ul style="list-style-type: none"> 学校と学校運営協議会の関係はどうあるべきか。どの程度のものを作り上げていくのか指導してください。 授業の準備をするための時間を先生方へ与えることが必要で、書類作成、報告物を少なくすることを考えてください。 学校設備の充実、学校に対する対応の拡充等今年度は目を見張るものがありました。来年度もよろしく願っています。 他のブロックの進捗状況及び成功例(学校運営協議会)などがあれば伺いたい。 			